

令和元年度事業報告書

学校法人 緑ヶ岡学園

1. 法人の概要

(1) 法人の名称・所在地

法人の名称 : 学校法人緑ヶ岡学園
 法人の所在地 : 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(2) 設置する学校・学科等

釧路短期大学 生活科学科、幼児教育学科
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号
 武修館高等学校 全日制課程・普通科
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 武修館中学校
 北海道釧路市武佐5丁目9番1号
 釧路短期大学附属幼稚園 (1号認定児童) 3歳児、4歳児、5歳児
 北海道釧路市緑ヶ岡1丁目10番42号

(3) 入学定員、総定員、学生数の状況

(単位:人)

収 入		入学定員	総定員	入学者数	総学生数	充 足 率
短期大学	生活科学科	50	100	42	86	86.0 %
	幼児教育学科	50	100	55	103	103.0 %
	計	100	200	97	189	94.5 %
武修館高等学校	普通科	140	420	113	400	95.2 %
武修館中学校		40	120	12	38	31.7 %
短期大学附属幼稚園			75	25	72	96.0 %
学 園 合 計		280	815	247	699	85.8 %

(4) 理事・監事・評議員・教職員の概要等

理 事 定数 7名～10名 現員 7名
 監 事 定数 2名 現員 2名
 評議員 定数 15名～22名 現員 16名
 教職員

	専任教員	専任職員	兼務教員	兼務職員	計
短期大学	17 人	14 人	37 人	2 人	70 人
武修館高等学校	31 人	9 人	22 人	5 人	67 人
武修館中学校	6 人	2 人	22 人	1 人	31 人
短期大学附属幼稚園	10 人		4 人	4 人	18 人
学 園 合 計	64 人	25 人	85 人	12 人	186 人

2. 事業の概要

(1) 法人

新経営改善計画（H26～H30）の実施状況の検証。
経営強化推進計画の推進（R元～R5）

(2) 釧路短期大学

釧路短期大学は、北海道東部地域の豊富な学習資源を基盤に、図書館司書・栄養士・保育士・幼稚園教諭など専門的職業人を育成している。学生の8割以上が地元出身であり、教育理念の重要な柱に「地域貢献」を明示し、地域密着型教育の定着・拡充を進めている。令和元年9月には釧路短期大学・地域連携推進プログラムを策定し、これからの地域連携推進の目標と計画を定め、より一層地域に開かれた地域に求められる大学たるよう多様な事業を行った。

1. 教育活動

- ①平成31年4月より、新たな教職課程及び保育士養成課程を開始。文部科学省が推進するアクティブ・ラーニングをなるべく取り入れる内容で授業を推進した。
- ②生活科学専攻において観光実務士資格（全国大学実務教育協会）の増設に向けて、カリキュラム改定及び資格課程申請を行い、令和2年度からの認定を受けた。（生活科学専攻）
- ③図書館司書に関する学修の成果を生かし、釧路市立図書館と共催イベントを実施するなど地域貢献を展開した。また、キャリア教育においては職場見学会のほか、学内合同企業説明会を実施し、地元企業への理解と職業意識の醸成に力を入れた。（生活科学科生活科学専攻）
- ④食と栄養に関する学修の成果を生かし、地域食堂において定期的に食事を提供、医療現場と連携して減塩食レシピ開発・パンフレット作成を行った。料理コンクールでは2名が全道上位入賞、このほか高校生アスリートの栄養アセスメント実施など地域貢献を展開した。（生活科学科食物栄養専攻）
- ⑤「第6回KJCランド～子どものあそびの日」（教員・学生共同企画・運営、自治体・地域団体協力、親子257名参加）を実施した（1/18 12時半～15時半）。土曜日・午後は初の試みとなる。1年生にとって次年度取組むべき課題を直接見聞することができる良い機会となった。（幼児教育学科）
- ⑥認定こども園法改正に伴う幼稚園免許状授与の所要資格の特例講座（現職保育士対象）を前年に続き開講した。
- ⑦全学あげて主体的な学習への転換と社会性伸長のため、学習環境整備を進めた。
 - i) ラーニング・コモンズの利用を進め、学生の主体的集団的な授業外学習の定着を図った。
 - ii) アクティブ・ラーニング、地域貢献活動（授業）の推進支援を行った。
 - iii) 校舎の耐震改修工事に伴いスペースの拡張（旧専門学校校舎の利用）を行った。
- ⑧FD・SD活動を行った
 - i) FDは授業評価・公開授業・研修を定期的実施し、授業改善を推進した。（定例の授業実践報告会については1回実施）
 - ii) SD研修を実施した。（テーマは、経営・財務、教育改革、学生支援・学習成果の可視化について）
- ⑨地域で活躍する人材をゲストにした「招待授業」を実施した。（20講座）
- ⑩教育改革推進予算（学長裁量経費）により教育改革の情報収集活動を実施した。

- ⑪学園内の高等学校と連携協議を実施し、初年次教育を試行した。
- ⑫過去2年分の教育活動を中心に「平成29・30年度 釧路短期大学自己点検・評価報告書」をまとめ、年度末に発行した。なお、令和2年度は認証評価第3クルの初年度に該当する。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、卒業式等を中止した。

2. 地域共創型プロジェクト（第2次）の取組

- ①学生企画の地域連携事業として、「学生による主体的能動的な地域貢献活動の推進」、「KJCランド～こどものあそびの日～」、「釧路市観光ガイドブックの製作と奉仕活動」、CKD（慢性腎臓病）の食事療法に関わる資料の公安と活用、「トーンチャイムの演奏とオペレッタ『北風と太陽』」などを実施した。
- ②学生ボランティアの地域派遣活動を実施（延べ94名の学生が参加）した。
- ③管内高等学校へ「高校生のための出前講座」を実施（6件）した。
- ④釧路市との連携協力に関する協定に基づき、連携協力事業を継続し、定期協議を実施し確認した。
- ⑤地産地消の推進を図るための連携組織（くしろ地産地消ネットワーク）に参加した。
- ⑥地域貢献活動を通し、学生の主体的な学びを促進するために必要な経費を支援する「地域教育活動支援経費」による活動を継続した。
- ⑦釧路地域の高等教育機関（北海道教育大学釧路校、釧路公立大学、釧路工業高等専門学校、本学）による釧路地域高等教育機関連絡会議の活動を継続した。

3. 学生支援体制の整備

- ①ハローワークくしろによる就職サポートルームを毎週1回、学生相談室に置き、学卒ジョブサポーターによる就職相談、求人紹介、面接指導等を継続するとともに、互いの情報交換や連携を密にし、学生の早期就職内定の向上を図った。
- ②全求職者のハローワーク求人登録を推進し、卒業後の支援強化を短大と連携し、強化した。
- ③就職委員会だけでなく、ゼミナール担当教員による就職サポートの協力強化要請を深めるため、学科内での就職活動情報を積極的に共有し合い、学生の就活支援に繋がった。
- ④ジョブカフェ北海道、ハローワークによる就活セミナーのほか、電話応対、就職メイク講習、卒業生による就職講演会、学内合同企業説明会等を開催した。
- ⑤卒業時に就職支援に関するアンケート調査を実施（6年目）し、この結果を踏まえて今年度の就職ガイダンスの内容改善を図った。
- ⑥求人票に最新求人のマークや役立つ情報を追記し、学生が活用しやすいよう整備した。
- ⑦学生の相談体制を継続（健康調査により事前に傾向を把握、支援の早期化を検討）した。
- ⑧学生による環境整備活動「釧短キャンパス環境ネットワーク」（任意登録）により、主体的に学ぶ環境づくりを推進（校地内・町内清掃ほか実施）した。
- ⑨ワークスタディ学習奨励金制度により、5名の学生が学内業務に従事した。
- ⑩ピア・サポートを実施し、学生相互の成長と交流を図った。
- ⑪同窓会奨学基金制度による修学資金給付を実施（導入5年目、奨学生1名）した。
- ⑫学生研修講座を開催（「自分の体を知ろう」、「若者のための消費生活講座」「年金セミナー」「法テラス」）した。
- ⑬初年次教育プログラムの一環、司書による文献探索講座等を実施（4回）した。
- ⑭英語の苦手を克服する「英語補習授業」を継続実施（7年目）した。
- ⑮社会人のキャリア形成支援となる「専門実践教育訓練講座」（厚生労働省）の継続・拡大を図った。（幼児教育学科「保育士専門実践教育訓練講座」指定6年目、生活科学科食物栄養専攻「栄養士専門実践教育訓練講座」2年目）

4. 附属図書館・生涯教育センター

- ①図書館蔵書管理システムおよび蔵書検索システムを継続して運用した
- ②令和元年度の図書館利用状況 蔵書冊数-45,909冊 入館者数-19,417人
貸出冊数 学生-2,583冊 教職員-1,150冊 学外者-562冊 合計4,295冊
学生一人あたりの年間貸出冊数-13.7冊
タブレットPCの館内貸出-62件
- ③ライティング支援機能について、学生、教職員に向けての広報の充実を図った。
- ④市民向け公開講座「道東文化塾2019」(全7回)、「ライティング支援講座『前田正名自叙伝』を読む2nd」(全3回)、「原典を読む『紅楼夢』を読む」(全3回)を実施した。
- ⑤学生の学習支援、教職員の研究・教育・地域貢献の支援、利用しやすい蔵書・情報のアクセス構築、学生の学習の場としての業務を志向した。

(3) 武修館高等学校

高等学校は、釧根地区唯一の私学として、独自の伝統と校風に基づき、「地域から必要とされる私学」、「地域から期待される私学」を目指し、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき「社会の良き形成者としての資質と教養を身につけるとともに、愛と奉仕に生きる人間を育成する」ことを目標としている。

伝統あるスポーツ部の活動に加え、国際交流やボランティア活動などの充実発展に努めるとともに、近年はこれまでの教育活動の流れを基本に、より高い学力や豊かな教養を身につけ「自分の将来を自分の意思で決定することのできる人材の育成」に重点を置いた教育を展開している。

- ①一貫コース及び普通コースの大学進学希望生徒を対象とした課外授業の実施。
- ②三大奉仕活動（市内一斉清掃・全国車いすマラソン・献血奉仕）をはじめとする奉仕活動の継続実施。
- ③地域にも定着した武修生の挨拶・礼儀の徹底。
- ④中卒者の減少期における生徒確保を目的とした教職員の意識改革と本校教育改革の実行。（多くの選択科目設置及びガイダンス機能を充実した教育課程の編成、改訂後の教務内規の完全実施、普通・体育コース混合クラス編成及び検証等）
- ⑤実践英語及び異文化理解を深めるため、ホームステイを柱としたオーストラリアでの語学研修を実施。また、道の「海外教育旅行支援事業」を活用し保護者負担を軽減するため行事名を「語学研修」に変更実施。
- ⑥漢検・英検・数検及び商業・情報系検定等の各種検定対策講座の充実・実施。
- ⑦2年生（全員）を対象にしたインターンシップの実施。
- ⑧進路実績 進学100%(100%)、就職87.5%(100%) ※()内数字は前年度のもの

【進学】

	国立大学	公立大学	私立大学	私立短大	専修各種	計
R01	3	0	30	13	41	87
H30	6	0	37	6	15	64
H29	3	3	32	9	18	65
H28	1	3	28	2	17	51
H27	4	5	26	3	11	49
H26	0	1	26	6	11	44
H25	3	2	20	5	31	61

国公立大学（筑波大学、金沢大学、北海道教育大学釧路校、府立大阪大学）

私立大学（早稲田大学、同志社大学、明治大学、中央大学、日本大学、東洋大学、日本体育大学、関西大学、関西学院大学、近畿大学など）

【就職】

	公務員	民間団体	計
R元	9	40	49
H30	3	20	23
H29	2	23	25
H28	6	22	28
H27	5	15	20
H26	5	26	31
H25	9	26	35

未定
8
0
7
9
8
13
4

卒業数
144
87
97
88
77
88
100

公務員（釧路市消防、自衛隊8名）

- ⑨就学支援制度の保護者への周知徹底による活用促進。
 外部制度（就学支援金・授業料軽減・北海道高等学校奨学会・日本学生支援機構）
 本校独自制度（兄弟姉妹授業料減免・経済支援奨学生）
- ⑩交通安全への意識醸成。（春の全国交通安全運動に伴う「5者合同出動式」への参加、外部専門家を招いての講演（中高合同）の実施）
- ⑪学校行事への保護者の支援・協力体制の構築とPTA活動の活性化。（校外研修への積極的参加、武窓祭・湿原強歩大会での協力、会員研修会の実施）
- ⑫経費節減運動の継続実施。
- ⑬特別外部広報チームを軸とした生徒募集の強化。（新入生121名の確保）
- ⑭校内研修や教育内容の検証を通じた教職員の意識改革。
- ⑮主要行事報告

- 4月 9日 第56回入学式（121名）
 4月12日 市内一斉清掃奉仕活動（三大奉仕活動・中高合同）
 5月 8~10日 1学年宿泊研修（2泊3日） ネーパル足寄
 5月17日 IAC（インターアクトクラブ）・JRC（青少年赤十字）加盟登録式（中高合同）
 7月 5~ 6日 「武窓祭」（中高合同）
 7月14日 釧路湿原全国車いすマラソン大会奉仕活動（三大奉仕活動・中高合同）
 8月20日 第1回中学校進路担当者説明会
 8月31日 第1回オープンスクール（生徒164名参加）
 9月 3日 中学校進路担当者説明会（教員26名参加）
 10月15日 「体育祭」
 10月17日 第2回中学校進路担当者説明会
 10月21~25日 見学旅行（普通・体育コース：関西・関東方面4泊5日）
 10月22~27日 語学研修（一貫コース：オーストラリア5泊6日）
 11月 7~ 8日 献血奉仕活動（三大奉仕活動）
 11月16日 第2回オープンスクール兼入試問題対策研究会（生徒145名参加）
 入試問題対策研究会（教員24名参加）
 1月18日 推薦入学試験（37名合格）
 2月18日 一般入学試験
 3月 2日 第54回卒業式（144名）新型コロナウイルス感染症により3月1日より順延
 ※新型コロナウイルスの感染症拡大防止及び感染防止により臨時休校（3/4～年度末）

(4) 武修館中学校

中学校は、校訓「愛と奉仕に生きる」の精神に基づき、併設型中高一貫校の利点を生かし、6年間の教育を通し、「高い知性と豊かな心を持つ生徒の育成」を目標に、道東唯一の私立中学校として平成17年度開校した。本校は中高の接続をスムーズにした教育活動により「自らが考えや計画を持って、自分の課題や目標に挑戦できる生徒を育成する」ことである。

これらのことを実現すべく以下の事業を重点的に実施した。

- ①異文化理解や英語に対する興味の深化を図るグアム見学旅行の実施。
- ②大学入試改革への対応と語学学習の充実に向け、今年度入学生より中学校及び高校での見学旅行を1本化し、高校1年次に2週間の語学研修を実施計画。
- ③大学受験予備校模擬試験の全学年受験の実施。(進路意識の啓発・向上)
- ④学習理解を深めるための個別指導の強化。
- ⑤自主性を重んじた課外学習の実施。(火・木7時間目、英数国の実施)
- ⑥漢検・数検・英検の上位級合格を目指した講習の充実・実施。
- ⑦本校の三大ボランティア活動を中心とした奉仕活動の継続。
(市内一斉清掃、車いすマラソンの他に地域高齢者とのふれあい)
- ⑧体づくりを目指した体育的行事の充実。(中高合同体育祭及びスケート教室の実施)
(中高合同体育祭及びスケート教室の実施)
- ⑨キャリア教育の充実・実施。(職場体験等)
- ⑩経費節減運動の継続実施。
- ⑪主要行事報告

- 4月9日 第15回入学式(12名)
- 4月12日 市内一斉清掃奉仕活動(三大奉仕活動・中高合同)
- 4月25日 学力推移調査
- 5月7日 漢字英単語テスト
- 5月17日 JRC(青少年赤十字)加盟登録式(中高合同)
- 6月12~14日 1学年宿泊研修(川湯温泉 2泊3日)
- 6月19日 職場体験(6社の協力)
- 6月29日 第1回オープンスクール(児童19名、保護者25名参加)
- 7月5~6日 「武窓祭」(中高合同)
- 7月14日 釧路湿原全国車いすマラソン大会奉仕活動(三大奉仕活動・中高合同)
- 8月3~7日 夏期合宿講習(北大見学 クラズユニック講習 4泊5日)
- 8月18日 推薦入学試験(9名合格)
- 9月9~13日 見学旅行(グアム2学年 4泊5日)
- 9月13日 1・3年生遠足
- 9月20日 学力推移調査
- 10月11日 体育祭(中高合同)
- 11月2日 第2回オープンスクール、入試問題研究会(体験授業 児童16名参加)
- 11月5日 中学総合学力調査
- 11月13日 地域高齢者との交流ボランティア
- 12月15日 学力入学試験(6名合格)
- 1月22日 スケート教室
- 3月14日 第13回卒業式(17名) 新型コロナウイルス感染症により中止。

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止及び感染防止により臨時休校(2/26~年度末)

(5) 釧路短期大学附属幼稚園

- ①基本方針(教育目標)
 - i) 明るく元気に遊ぶ子ども
 - ii) 素直で優しい子ども
 - iii) 最後までやりぬく子ども

※3つの教育目標を達成するため、教職員は日々の保育を計画し実践する
- ◎子ども達の遊びを応援する幼稚園
- ◎小学校への継続を踏まえた保育を行い、卒園後も見守る幼稚園
 - ※2つの方針のもと、日々の保育を計画的に進めていく

②令和元年度事業の特色

- i) 各クラス2名以上の職員による設定保育と全職員による自由遊びの充実
- ii) 幼小連携の継続と強化
- iii) 卒園児お泊まり会の継続による卒園後の支援
- iv) 子育て支援（未就園児クラス カンガルークラブの充実）
- v) 子育て支援事業の開始（親子でさくらんぼクラブ・子育て相談充実）
- vi) ふぞく祭（バザー）の継続による地域開放・保護者との連携
- vii) 固定遊具の定期点検による安全確保と衛生意識の向上
- viii) 幼稚園型認定こども園初年度としての運営

③通常事業

- i) 体験重視の保育内容＝園外保育の拡充
- ii) 釧路短期大学との連携
- iii) 預かり保育の充実＝働く保護者の支援
- iv) 保育を必要とする園児（2号）の長時間保育の充実
- v) スケート保育＝地域性を生かした保育
- vi) 祖父母交流会の開催
- vii) 学校評価・自己評価の充実
- viii) 行事の充実
- ix) 父母会との連携協力・父さんズの活動
- x) 小・中・高校生の見学、職場体験の受け入れ
- xi) ケース会議や担任・副担任交替など、子ども達を複数で見守り支援する取り組み
- xii) 若手教員の育成と、園内・園外での研修の推進

※新型コロナウイルスの感染症拡大防止及び感染防止により臨時休園（2/26～年度末）

④職員数及び園児数（2020. 3. 31）

		令和元年度	平成30年度	平成29年度
職員数	園長	1	1	1
	教員	9	9	7
	教員【パート】	5	4	4
	職員	0	0	0
	職員【パート】	4	3	3
園児数	5歳児	21	31	25
	4歳児	25	24	34
	3歳児	25	28	21
	満3歳児	3	2	9
	計	74	85	89
	カンガルークラブ	18	19	13

3. 財務の概要

(事業活動収支計算書)

(単位：千円)

		H29年度	H30年度	R元年度	備 考
教育活動収支	収 入	734,167	711,979	739,867	
	支 出	672,522	696,781	743,710	
	収支差額	61,645	15,198	△ 3,843	
教育活動外収支	収 入	30	23	22	
	支 出	1,060	919	908	
	収支差額	△ 1,030	△ 896	△ 886	
経常収支差額		60,615	14,302	△ 4,729	
特別収支	収 入	4,034	175,004	4,434	
	支 出	3,496	3,823	0	
	収支差額	538	171,181	4,434	
基本金組入前当年度収支差額		61,153	185,483	△ 295	
基本金組入額		12,122	122,683	4,894	
当年度収支差額		49,031	62,800	△ 5,189	

人件費総額	468,442	450,435	526,407	
補助金総額	328,712	487,972	334,069	
借入金期末残高	164,470	266,260	250,050	
翌年度繰越支払資金	493,389	357,917	559,286	
学生・生徒数(人)	661	697	699	
	教68、職33	教65、職33	教70、職35	